

学校保健委員会だより

平成28年7月
鹿嶋市立高松小学校

6月30日(木)に、第1回学校保健委員会が開催されました。その内容についてお知らせします。

学校保健委員会とは

<高松小学校保健委員会の目的>

- 1 児童の生活全域(学校生活・家庭生活・社会生活)にわたる健康に関する活動と、その問題解決を図る。
- 2 健康教育のあり方を検討し、その実践を推進する。



<高松小学校保健委員会の組織>

学校医・学校歯科医・学校薬剤師・潮来保健所・鹿嶋市保健センター・学校給食センター・教育委員会
PTA本部役員・PTA学年委員・学校職員・希望者など

養護教諭より 健康診断について

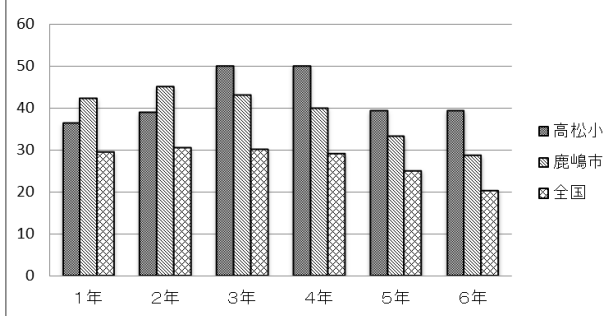
今年度より、「座高」「寄生虫卵検査」の項目がなくなり、新たに「四肢の状態(運動器検診)」が追加されました。

追加された背景には、運動不足が原因で筋肉・関節・骨などの発達に問題があると思われる子どもが増えた一方、野球やサッカーなど特定のスポーツを過度に行うことで起きる障害などで学校生活に支障をきたす児童もあり、それらを調べることとなりました。

本校では、保護者の方に書いていただいた問診票、日々の健康観察、内科検診で総合的に判断しました。

《歯科検診》

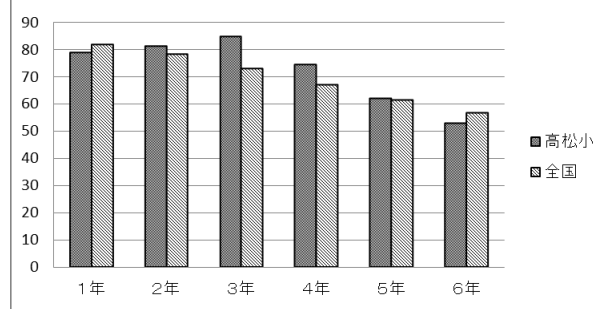
未処置歯(むし歯)ありの割合



- 本校の虫歯のある児童生徒の割合は、全校で42.3%で**全国平均より大幅に高い。**
- 3・4年生で半数の児童にむし歯があった。
- ◎**受診率が50%ほど**なので、受診を呼びかけたい。
- ◎はみがき指導を行い、予防に努めたい。

《視力検査》

裸眼視力Aの児童の割合



- 1・6年生以外全国平均を上回っている。全校で見ると、裸眼視力がAの割合は**72.3%**で、**全国平均69.3%**を上回っている。
- 視力B以下で受診勧告を出した児童は、裸眼・矯正合わせて24.7%であった。

体育主任より



《昨年度の体力テストの結果より》

○本校は、**握力、ソフトボール投げを苦手とする児童が多い。**

◎業間運動でいろいろな運動をする「サーキット運動」を行っているが、その中に投げる・握るの運動を取り入れたり、授業でボールゲームを行ったりしながら、向上をめざしている。

《いばらき国体にむけて》

○平成31年に茨城県で国体が開催される。

○国体のホームページでイメージキャラクターやイメージソングを紹介しているので、ぜひ見てほしい。

☆イメージキャラクター☆
「いばらっきー」



小学生で注意すべき運動器疾患について 鹿島病院 神尾先生



《運動のし過ぎで注意する病気》

- ・オスグッドシュラッター病(ひざ下の腫れ・痛み)・・・サッカーやバスケットに多い。
- ・野球肘、テニス肘(肘の痛み)・・・野球、テニスなど。
- ・大腿骨すべり症(足の付け根の痛み)

→これらは、安静にし、病院を受診する。

《運動不足で考えられる症状》

- ・体が硬い。 ・転びやすい。 ・しゃがめない。

→早急に受診が必要なのではないが、日常生活で観察し、痛みがあったり、生活に支障があるような場合は整形外科を受診し医師に相談してほしい。



フッ素でむし歯を予防しよう! いせがわ歯科医院 布瀬川先生



フッ素は歯ブラシの届かない部分を強くする!



フッ素の働きとは?

- 歯質の強化**
虫歯菌に負けない強い歯になります。
- 再石灰化の促進**
むし歯の発生を防ぎます。
- 初期う蝕の予防**
なりはじめのむし歯を予防します。
- 抗酵素作用・抗菌作用**
虫歯菌のはたらきを弱くします。

フッ素は歯科医院で塗布したり、フッ素入りのはみがき剤を買うなどし、定期的に使うと効果的です。

フッ素はもともと自然界に存在するもので、食べ物にも含まれています。歯科医では安全な濃度で塗布してくれるので心配はいりません。

ただ、むし歯予防の主役はあくまでも歯みがきがメイン!
補助的に上手に使ってください。

学校医の神尾先生、学校歯科医の布瀬川先生ともに、いろいろな相談ののってくださいます。体のこと、歯のことでお困りのことなどありましたら、養護教諭までご相談ください。